

資料6

報道発表資料
平成27年10月21日
気象庁

第133回火山噴火予知連絡会
阿蘇山の火山活動に関する検討結果

阿蘇山では活発な火山活動が続いており、今後も9月14日と同程度の噴火が発生する可能性があります。

阿蘇山中岳第一火口では、9月14日09時43分に噴火が発生し、噴煙が火口縁上2000mまで上がり、弾道を描く大きな噴石が火口中心から約700mの範囲に飛散し、小規模な火砕流が火口縁から最大約1.3km流下しました。この噴火はマグマ水蒸気噴火と考えられます。その後も小規模な噴火がほぼ連続しています。

二酸化硫黄放出量は、1日あたり900から1900トンと多い状態が続いています。

火山性微動の振幅は10月1日以降急激な増減がみられ、振幅の増大時には噴煙の勢いが増す傾向がみられています。

GNS連続観測では、深部にマグマだまりがあると考えられている草千里を挟む基線で8月頃からわずかな伸びがみられています。

以上のように、阿蘇山では活発な火山活動が続いており、当分の間は9月14日と同程度の噴火が発生する可能性がありますので、火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。